

2024年9月5日

毎年9月5日は、国連が制定した「国際チャリティー・デー」

20周年を迎える FIT チャリティー・ランの取組紹介

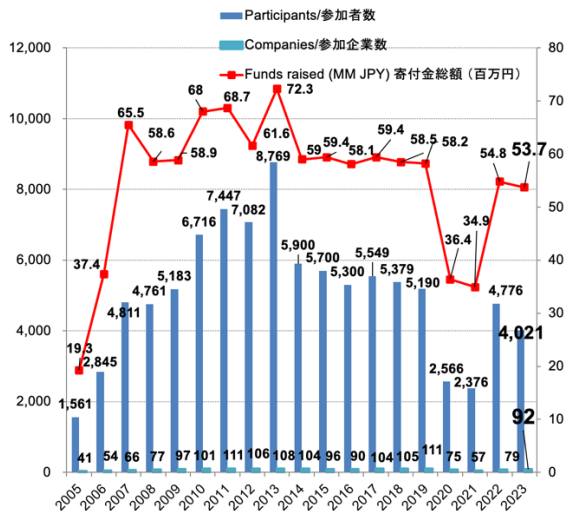
～これまでに支援した団体数は144、累計寄付金総額は10億円を超える～

金融業界で働く有志の団体、FIT チャリティー・ラン 2024 実行委員会は、20 回目となる「FIT チャリティー・ラン 2024」を9月16日（月）に開催します。このイベントは2004年のスマトラ沖大地震を契機に始まり、東京を中心に活動する非営利団体への寄付を通じて、社会的に意義のある活動を支援してきました。今年で20周年を迎えるにあたり、これまでの取り組みの成果やイベントに寄せられた関係者の声を振り返り、さらなる成長と社会貢献を目指す姿勢をお伝えします。



FIT チャリティー・ラン 2023の様子

FIT 20年間の成果（2005～2023年）



- 寄付金総額：1,043,136,974円
- 支援先団体数：144団体
- 参加者総数：95,822名

FIT2024のテーマは「Two Decades, One Mission ～FIT at 20～」です。このテーマには、20年間の歩みと関係者への感謝を含めるとともに、新たな一步を踏み出す決意が表現されています。また、FITの力を再び高め、地域社会にさらなるインパクトを与えることを目指すと同時に、FITの使命を守り続けた仲間たちと共に、次の20年を築いていくという強い意志も込められています。

FITは、金融サービスや関連企業の社員がボランティアで企画・運営しており、業界全体に地域支援の機会を提供するとともに、多様化する社会課題やその解決に取り組む団体の活動を知る場を提供しています。

主な収益源はランニングイベントのスポンサー費用と参加費で、経費は多くのボランティアやスポンサー企業、協力企業の支援により最大限に抑えられており、収益の約90%が寄付に充てられています。

FITは、後援や協力企業、参加企業、そして多くのボランティアの支援を受けて年々規模を拡大してきました。2023年には、92社から4,500名を超えるボランティアが参加し、約4,880万円の寄付金を集めることができ、発足以来の累計寄付金総額は10億円を超えました。



FIT チャリティー・ラン 2024のロゴ

■ 昨年度の支援先団体様の声

一般社団法人チョイふるは、貧困家庭への食料品無料配達等をツールとし、困窮家庭の孤立を防ぐ活動を行っています。

FIT からの寄付金は、困窮子育て家庭に提供する食材の保管にかかる費用に充てています。具体的には、拠点の家賃や設備費に使用しています。困窮家庭子育ての登録世帯が増え、それに伴い食品供給量も増加したため、フードパントリーの拠点を3カ所に増設しました。



一般社団法人チョイふる
代表理事 栗野 様



認定 NPO 法人 フードバンク渋谷
事務局長 久保田 様

認定 NPO 法人 フードバンク渋谷は、渋谷区近隣住民を対象とした生活困窮者への食糧支援を行っています。

FIT からの寄付金は、主に①食品保管場所の家賃支払いと備品の購入、②学習支援を実施する拠点の家賃の支払いと備品の購入、③ホームページのリニューアル費用、④安定した活動資金を確保するためにファンドレイジングや宣伝広告費用に活用させていただいています。また、団体の「ビジョン・ミッション・バリュー」を専門家のアドバイスを受けながら策定しました。より多くの企業や個人の皆さまから活動への共感を得られるように広報に力を入れています。

認定 NPO 法人子ども支援センターつなぐは、虐待、性暴力、いじめ等の被害にあった子どものためのワンストップセンターとして、子どもの権利擁護に係る支援を行っています。

つなぐに係る子どもの中には、食事や買い物などもままならない状態の子どもがいます。つなぐでは、そんな子どもに「寄り添い」「付き添い」「話を聞く」ことをしており、話を聞くと子どもたちの負担を軽減できるのが付添犬活動です。大きなトラウマを負った子どもたちの心身の回復には、このような小さな一步一步が欠かせません。付添犬と一緒に行動をより拡大し、一人でも多く、そして一日も早く日本中の子どもに寄り添うことができるようにしていきたいと考えています。また、支援者はトラウマに配慮しながら関わっていく必要があり、人材育成も欠かせません。寄付金はこのような子どもたちの支援のために使用します。



認定 NPO 法人 子ども支援センターつなぐ
代表理事 田上 様



■ 共同実行委員長より

2005年に有志で始まったFITは、金融関連業界各社より集まった多くのボランティアと共に歩み、今年でついに20周年を迎えることができました。

毎年、多くの方が集まるランイベントをボランティアメンバーで開催し続けられたことは、FITに関係するすべての皆さまのご支援・ご協力のおかげです。

これまでの道のりでは、コロナ禍により開催自体が危ぶまれた時期もありましたが、オンラインランとして継続し、一昨年からは「with コロナ」の状況下で国立競技場での実開催に戻ることができました。

今後もさまざまな団体への支援のために、引き続きFITを見守り、ご協力いただければ幸いです。



株式会社 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
仲矢 裕



ピムコジャパンリミテッド
表 寛子

FITはこの20年間、協賛・協力企業のご支援と多くのボランティアの献身に支えられ、金融業界における類まれな活動として大きく成長しました。イベントの大規模化や寄付金額の増加に伴い、実行委員会の在り方、イベント運営、支援先団体の選定プロセス、経費や報告書の透明性の確保など、さまざまな面で進化を続けてきました。

社会課題はますます多様化しており、まだ認知されていない、支援を必要とする問題が多く存在します。次の20年も、FITはこうした社会の変化に合わせて成長し続け、多様化する社会課題への支援を継続してまいりたいと思います。また、FITが参加者にとって社会問題を知り、関心を持つ機会となれば、大変うれしく思います。

FITでは、公式ウェブサイトに加え、FacebookなどのSNSでも随時情報を発信しています。

- FIT 公式ウェブサイト：<http://fitforcharity.org/ja/index.html>
- Facebook：<https://www.facebook.com/fitforcharityrun>
- Instagram：<https://www.instagram.com/fitforcharityrun/>
- LinkedIn：<https://www.linkedin.com/company/fitforcharity/>

これまでに支援した団体へのインタビュー記事もウェブサイト上に掲載していますので、ぜひご覧ください。

- 過去の支援先団体一覧及びインタビュー記事：
http://fitforcharity.org/ja/about-us/past_beneficiary_organisations.html